

「高齢者虐待防止研究」執筆要項

1. 原稿（原著論文，調査報告，実践報告，総説）は，図，表，写真，注，文献，和文・英文抄録を含めて，20,000 字を超えないこととします．資料は，図，表，写真，注，文献，和文（英文）抄録を含めて 8,000 字を原則とします．また，調査報告，実践報告，総説，資料については，英文抄録を必ずしも付ける必要はありませんが，英文目次を作成する必要性から英文タイトルは必ず付けてください．
2. 投稿に際しては，word，excel および pdf 変換した原稿（本文，注，引用文献，図，表，写真）に，3 枚の表紙を付け，本文にはタイトル（英文タイトル併記）のみを記載し，所属，氏名，会員番号は記載しないでください．

原稿の体裁は，

- 1) 1 枚目の表紙に，①和文タイトル，②原稿の種類，③所属と氏名（和文と英文）（連名の場合は全員），④会員番号（連名の場合は全員），⑤連絡先（筆頭者のみ，和文のみ）．
 - 2) 2 枚目の表紙に，無記名で，⑥和文タイトル，⑦原稿の種類，⑧和文抄録（400 字以内），⑨キーワード（5 語以内）．
 - 3) 3 枚目の表紙に，無記名で，⑩英文タイトル，⑪英文抄録（300 語以内），⑫英文キーワード（5 語以内）．調査報告，実践報告，総説，資料については，3 枚目を省いても結構です．
 - 4) 4 枚目から，⑬和文タイトル，⑭英文タイトル，⑮本文，⑯注，⑰引用文献，⑱図，表，写真とします（4 枚目以降が原稿）．また，本文・注・引用文献頁には頁下中央部に，必ず頁番号を印字してください．
3. 提出原稿は次のとおり作成してください．
 - 1) 本文・注・引用文献は，原則として Microsoft Word で作成し，A4 用紙に横書き（40 字×40 行）で，行番号（通し番号）を付し，word と pdf 変換した 2 種類を提出してください．
 - 2) 図表は，図 1，表 1 などの番号を付け，本文とは別に 1 枚 1 点とし，本文原稿右欄外にそれぞれ挿入箇所を指定してください．表は横線のみで構成してください．なお，特別の作図などが必要な場合には，自己負担を求めることがあります．
 4. 図表は，便宜上一律 1 点につき，大 1,600 字，中 800 字，小 400 字に換算してください．文字は原則 9 ポイントとします．なお，既に出版された原稿，図，表，写真の一部もしくは全部を転載する場合には，著作権の所有者より転載許可を受け，そのコピー（pdf）を添付してください．
 5. 文章の形式は，口語体，常用漢字を用いた新かなづかいにてお書きください．算用数字は全て半角にしてください．括弧や句読点，特殊記号は，和文中では全角を，英文中では半角で統一してください．外国語は活字体を使用し，1 字分に 2 文字を収めます．また，外来語はカタカナで，外国人名など日本語訳が定着していない学術用語などは原則として原語で記載してください．英文の場合は，ダブルスペースで作成してください．
 6. 本文の見出し順位は，原則として以下のとおりとしてください．
 - I. II. III. . . .
 1. 2. 3. . . .
 - 1) 2) 3) . . .
 - (1) (2) (3) . . .
 - (a) (b) (c) . . .
 - ① ② ③ . . .

（次項に続く）

7. 引用・参考文献は、次のとおり記述してください。

1) 引用文献については、本文中に（著者の姓，西暦発行年，引用頁）と表示してください。共著は，著者の姓は1名のみ記載し，姓の後に「ら」と記します。2つ以上の引用文献がある場合は，（著者の姓，西暦発行年，引用頁；著者の姓，西暦発行年，引用頁）とセミコロンで区切って表示してください。引用頁は，引用した部分の頁番号を記載してください。例（井上ら，2020，3；田中，2021，45-46）参考文献は，本文中の表記は必要ありません。

2) 文献リストは，著者名のアルファベット順に掲載してください。ただし，共著者は3名までの表記とします。4名以上の場合，3名の著者名の後に他と記します。英語では3名の著者名の後に et al. と記します。著者名（英語）の表記は，姓，名前頭文字. とします。

例 Cooper, J.

3) 文献リストの記載方法は下記の例示によって記述してください。

頁は，共著の場合は，著者の論文・記事の頁を記載してください。単著の場合は頁番号は入れないでください。

①雑誌の場合

著者名. (出版年). 論文タイトル. 雑誌名, 巻 (号), 開始頁-終了頁.

例 佐藤一夫. (2022). 高齢者虐待の実態と支援の現状. 高齢社会研究, 12 (1), 12-13.

②単行本の場合

章著者名. (出版年). 章タイトル. 編者名 (編), 書籍タイトル, 版, 出版社, 発行地, 開始頁-終了頁.

例 中井宏. (2022). 高齢者虐待調査の概要. 田中二郎 (編), 超高齢社会概論, 第2版, 金沢書房, 東京, 58-59.

③翻訳書の場合

原著者名. (原書出版年/翻訳書出版年). 翻訳者名 (訳), 翻訳書タイトル, 版, 出版社, 発行地, 開始頁-終了頁.

例 Gordon, M. (2012/2016). 野口新太 (訳), 虐待調査の技法, 第3版, 政策研究出版, 東京, 66-68.

④WEB ページの場合

通常の記事情報の後に，URL か DOI, アクセス年月日を記載してください。

例 厚生労働省. (2023). 市町村・都道府県における高齢者虐待への対応と養護者支援について (国マニュアル). (<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001092086.pdf>, 2023年3月1日アクセス).

8. 注は，本文中の該当箇所の右肩に (1) (2) (3) …, と順番に番号を付し，本文の後にまとめて記載してください。

9. 投稿原稿の場合，原稿中で「筆者」「拙著」などの表現は用いず，著者名で表記してください。

10. 掲載にあたっては本誌編集方針に則って，漢字・平仮名表記の別など多少の原稿整理を行います。

11. 英文は native check もしくは専門家による校閲を受けてください。

12. 論文を投稿する際「高齢者虐待防止研究 投稿チェックリスト」を使用し，執筆した原稿が投稿規程や執筆要項に沿っているかを確認した上で，原稿等と一緒にリストをメール提出してください。

以上